

何を使う

機器 iPad

ソフトウェア（アプリ）

Shapes ～学ぼう 3D 幾何学～



それをどう使う（それで何ができる）

- 空間図形の種類、面、辺、頂点の数を3Dで確認できる。
- 空間図形の底面や内部、裏側を見ることができる。
- 空間図形を机上にAR表示させることができる。
- 展開図を作成、データとして印刷することができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 数学科「空間図形」

【 Before 】

- 教科書や立体模型でその空間図形の特徴を把握させる。



【 After 】 メリット

- アプリを使って生徒一人一人が、空間図形の種類や特徴を調べる活動をととして、関心・意欲を高め、学習に取り組ませることができる。
- 空間図形を見取図や展開図など様々な方法で示すことにより、その空間図形の性質を分析的に考察することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一	個	協
		○		提示なら大型提示装置			斉	別	働
	1人1台が望ましいが、グループで1台も可						○	○	○
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		数学科		
	○	○			活用が想定される場面		空間図形の操作		